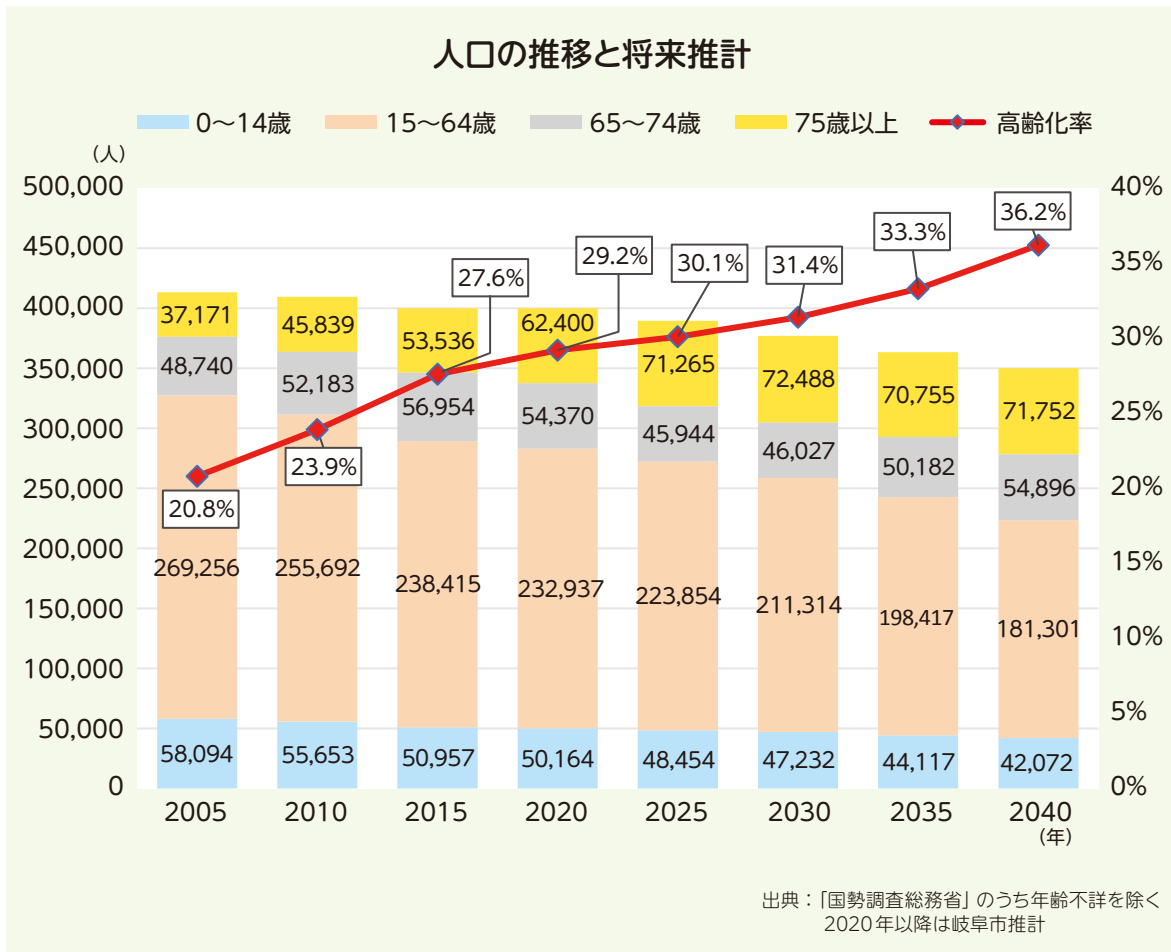


第3章

岐阜市の現状

① 岐阜市の人口の推移と将来人口推計

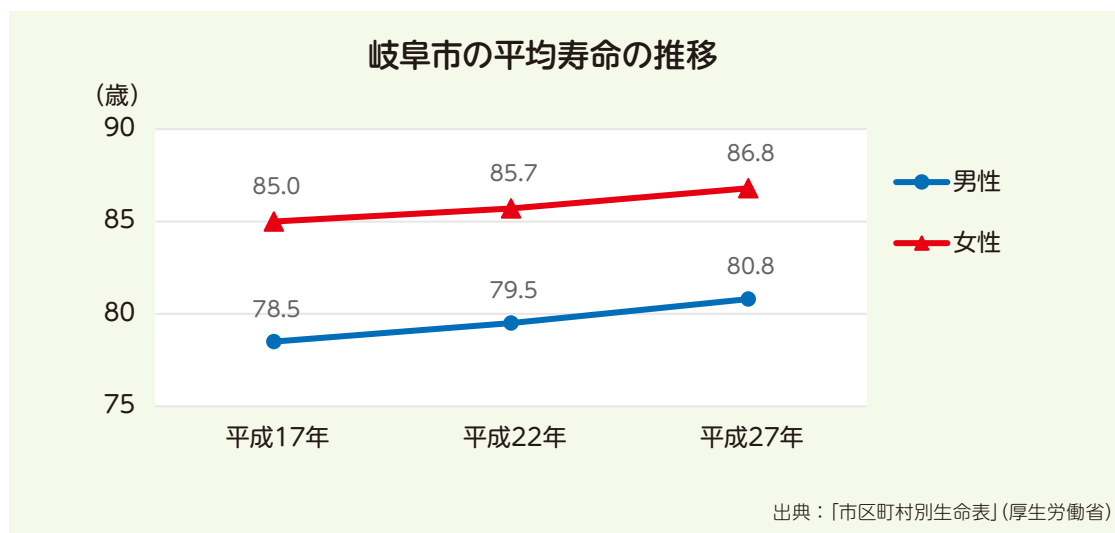
本市の人口は、減少傾向が続く見込みであり、0～14歳の年少人口、15～64歳の生産年齢人口は、減少する一方、75歳以上の後期高齢者は今後さらに増加し、高齢化率は、2040年には36.2%になることが見込まれています。



② 平均寿命・健康寿命の現状

(1) 平均寿命

本市における平成27年の平均寿命は、男性が80.8歳、女性が86.8歳となっており、平成17年からの10年間で、男性は2.3歳、女性は1.8歳延びています。男性女性とも、全国や岐阜県と同程度となっています。



岐阜市・岐阜県・全国の平均寿命の比較

	男 性			女 性		
	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年
岐阜市	78.5歳	79.5歳	80.8歳	85.0歳	85.7歳	86.8歳
岐阜県	79.0歳	79.9歳	81.0歳	85.6歳	86.3歳	86.8歳
全 国	78.8歳	79.6歳	80.8歳	85.8歳	86.4歳	87.0歳

出典：「市区町村別生命表」(厚生労働省)

(2) 健康寿命

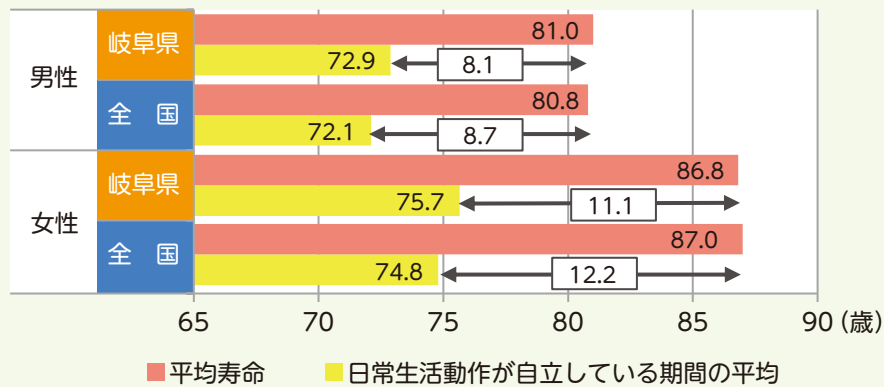
全国と岐阜県は、国民生活基礎調査（3年ごとに実施される大規模調査）の回答をもとに算出した「日常生活に制限のない期間の平均」を健康寿命の指標としています。平成28年の全国健康寿命は男性が72.1歳、女性が74.8歳で、平成27年の平均寿命との差は、男性が8.7歳、女性が12.2歳となっています。岐阜県の健康寿命は、男性が72.9歳、女性が75.7歳で、平均寿命との差は、男性が8.1歳、女性が11.1歳となっています。平均寿命と健康寿命の差は、平成22年と平成27年（健康寿命は平成28年）では、縮小しています。

岐阜県・全国の平均寿命と健康寿命の比較

		男 性		女 性	
		平成22年	平成27年	平成22年	平成27年
岐阜県	平均寿命	79.9歳	81.0歳	86.3歳	86.8歳
	健康寿命	70.9歳	72.9歳*	74.2歳	75.7歳*
	差	9.0歳	8.1歳	12.1歳	11.1歳
全 国	平均寿命	79.6歳	80.8歳	86.4歳	87.0歳
	健康寿命	70.4歳	72.1歳*	73.6歳	74.8歳*
	差	9.2歳	8.7歳	12.8歳	12.2歳

※健康寿命について、この項目のみ平成28年の数値
 出典：「都道府県生命表」(厚生労働省)
 「健康日本 21 (第二次) 推進専門委員会資料」(厚生労働省)

岐阜県と全国の前記平均寿命と日常生活に制限のない期間の平均



出典：「都道府県生命表」(厚生労働省)
 「健康日本 21 (第二次) 推進専門委員会資料」(厚生労働省)



③ 死亡原因

本市における平成30年の死亡原因は第1位が悪性新生物（がん）、第2位は心疾患、第3位は肺炎、第4位は脳血管疾患となっています。岐阜県と全国の死亡原因の第1位と第2位は、本市と同じですが、第3位は老衰、第4位は脳血管疾患となっています。

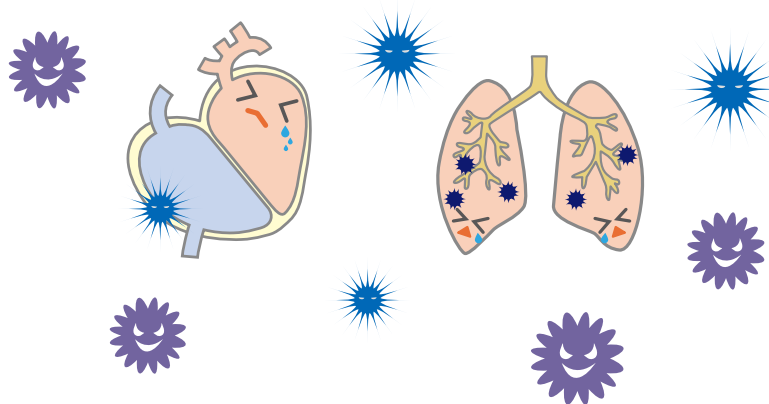
主要死因の死亡数・死亡率（人口10万対）

（平成30年）

順位	死 因	岐阜市		参 考			
				岐阜県		全 国	
		死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
	全死因	4,564	1,138.1	23,062	1,153.4	1,362,470	1,096.8
1	悪性新生物	1,288	321.2	6,132	306.7	373,584	300.7
2	心疾患(高血圧性を除く)	708	176.6	3,511	175.6	208,221	167.6
3	肺炎	326	81.3	1,504	75.2	94,661	76.2
4	脳血管疾患	318	79.3	1,780	89.0	108,186	87.1
5	老衰	304	75.8	2,057	102.9	109,605	88.2
6	不慮の事故	164	40.9	896	44.8	41,238	33.2
7	腎不全	97	24.2	446	22.3	26,081	21.0
8	大動脈瘤及び解離	76	19.0	361	18.1	18,803	15.1
9	アルツハイマー病	66	16.5	336	16.8	19,095	15.4
10	慢性閉塞性肺疾患	64	16.0	319	16.0	18,577	15.0

※死因別順位は岐阜市のもの。岐阜県、全国においては必ずしも順位どおりの並びではない。

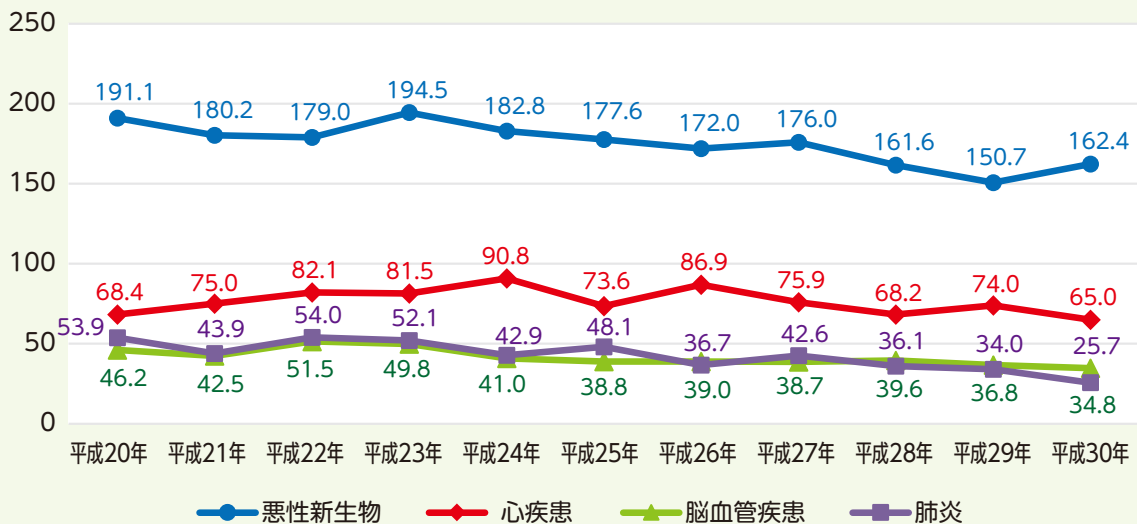
出典：岐阜市衛生年報



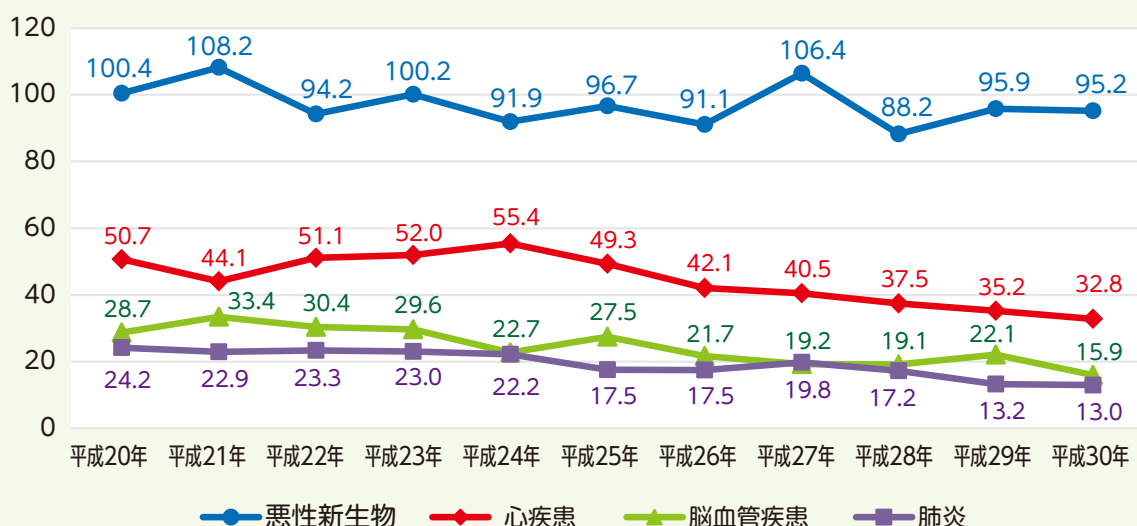
④ 年齢調整死亡率※4 (人口10万対)の推移

本市における年齢調整死亡率は、平成20年と平成30年を比べると、男性の心疾患は、ほぼ横ばいにあります。男性女性ともに悪性新生物、脳血管疾患、肺炎及び女性の心疾患は減少傾向にあります。

年齢調整死亡率 (人口10万対) の推移 (男性)



年齢調整死亡率 (人口10万対) の推移 (女性)



出典：「岐阜県統計」

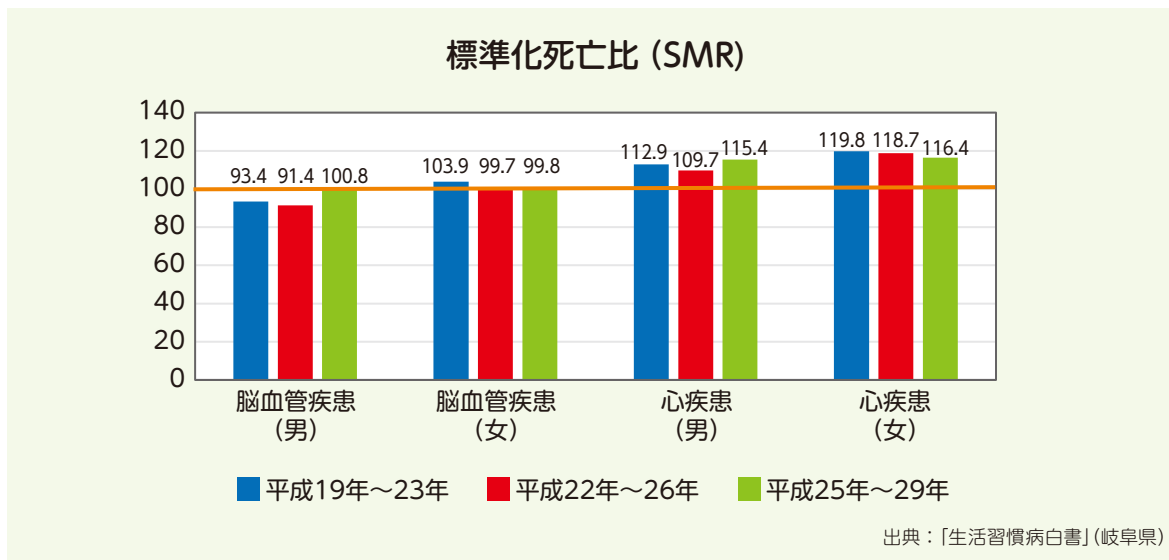
※4 年齢調整死亡率

年齢調整死亡率とは、基準人口(基準となる集団の年齢構成を用いて集団の年齢構成)のゆがみを補正した死亡率のこと。

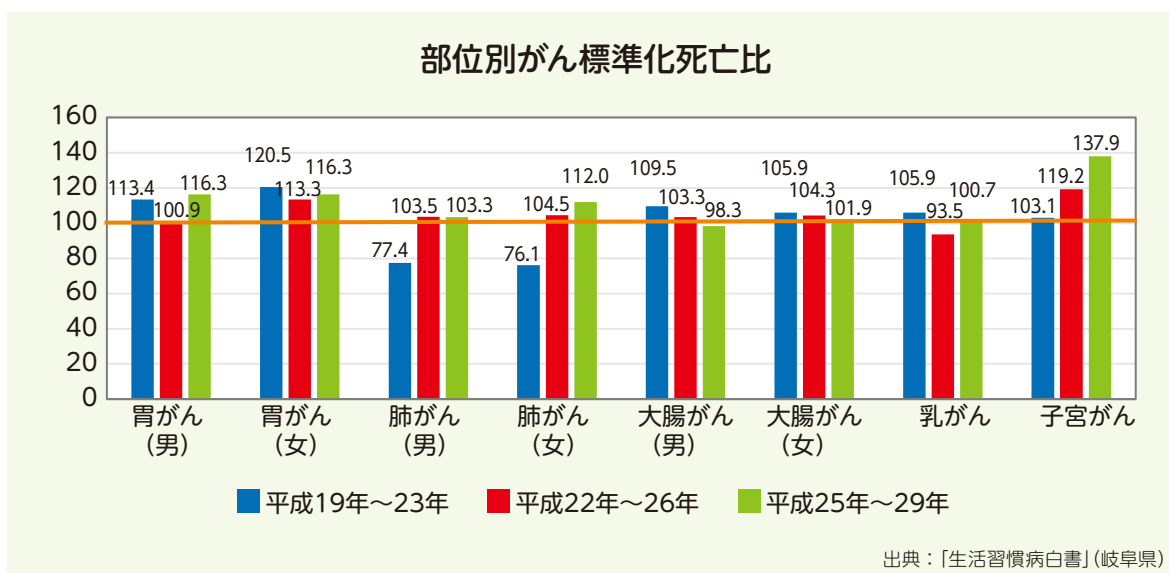
死亡の状況は、人口の年齢構成に影響され、老年人口の多い集団では死亡率が見かけ上高くなります。そこで一定の基準人口に当てはめて調整した年齢調整死亡率を用いると、高齢化の影響を取り除いた比較ができます。

⑤ 標準化死亡比 (SMR)^{*5} の特徴

本市における標準化死亡比 (SMR) は、脳血管疾患については、男性女性ともにほぼ全国並みですが、心疾患については、男性女性ともに全国よりも高い状況が続いています。



がんの部位別標準化死亡比は、男性の肺がん、大腸がん、女性の大腸がん、乳がんは、ほぼ全国並みですが、男性の胃がん、女性の胃がん、肺がん、子宮がんは全国より高い状況にあります。



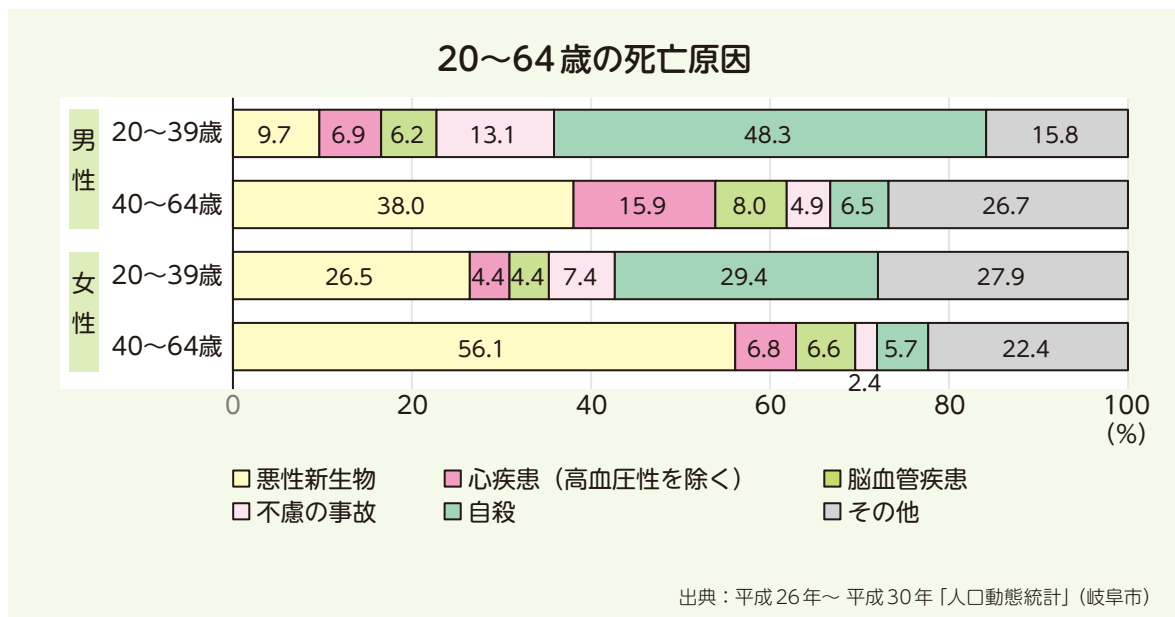
*5 標準化死亡比

地域間の年齢分布の違いを補正し、計算により算出される死亡数と実際の死亡数を比較する標準化死亡比は、全国を100として、100以上であれば、全国の平均より死亡率が高く、100以下であれば、全国の平均より死亡率が低いと判断されます。

⑥ 20～64歳の死亡原因

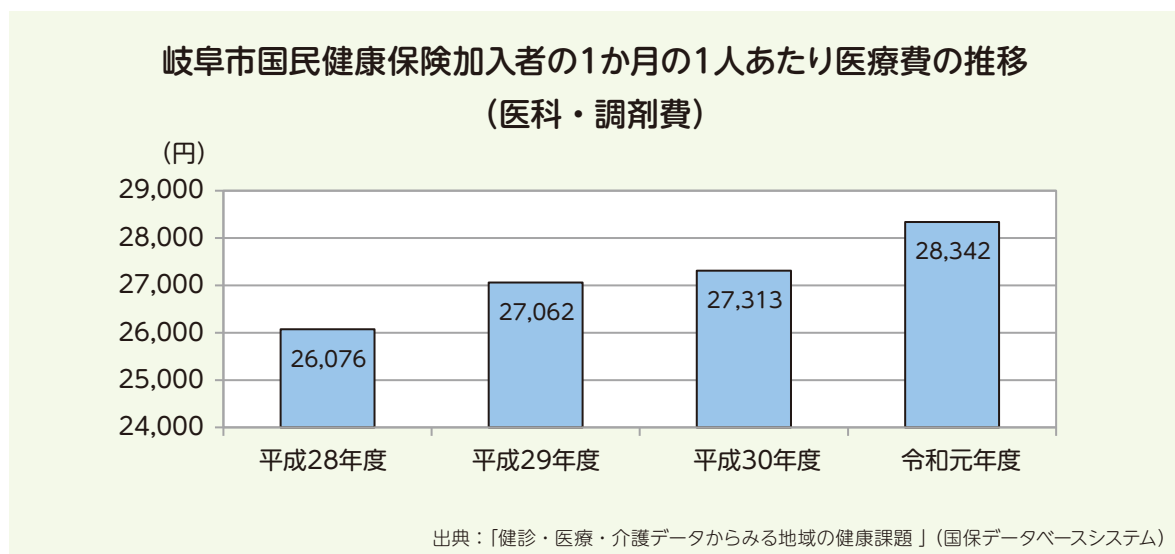
本市における20～39歳の死亡原因は、男性女性ともに第1位は自殺、第2位は男性が不慮の事故、女性は悪性新生物となっています。

40～64歳の死亡原因は、男性女性ともに第1位が悪性新生物、第2位が心疾患となっています。



⑦ 医療費の状況

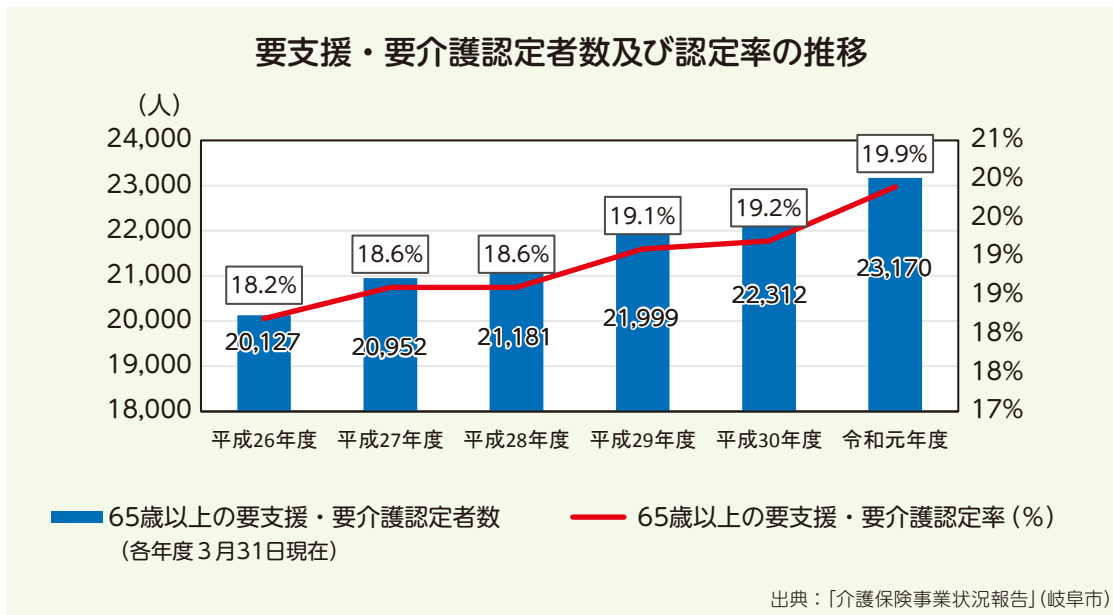
本市の国民健康保険加入者の1か月の1人あたり医療費は、年々増加しており、平成28年度が26,076円であるのに対し、令和元年度は、28,342円となっています。



⑧ 介護保険の状況

(1) 要支援・要介護認定者数、認定率

本市の65歳以上人口に占める要支援・要介護認定者数及び認定率は、年々増加しています。



(2) 介護が必要となった主な原因

介護が必要となった主な原因をみると、認知症（アルツハイマー病等）、骨折・転倒、脳卒中（脳出血・脳梗塞等）の順に多くなっています。

